



「平等心をつるときを……」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

ご門徒さまのご家庭での報恩講も3日現在で29軒お勤めくださいました。あとお聞きしているのは2軒となっております。報恩講では親鸞聖人がお書きになった正信偈をお勤めして、お念仏とご和讃を六首拝読します。ご和讃は聖人がたくさん書いてくださったので、本願寺の晨朝では毎日違つたものを拝読します。みなさまのご家庭でも、住職と一緒に勤めくださるお家ではわからなくなると困るので、『弥陀成仏のこのかたは』から六首を拝読しますが、そうでないご家庭では毎年違うものを拝読しております。お気づきでしたか？今年拝読したご和讃の六首目が標題のご和讃でした。

平等心をつるときを
一子地となづけたり
一子地は仏性なり
安養にいたりてさとるべし

阿弥陀如来が私たちに願いをかけてくださっているとき、私たち十方の衆生をまるく一人子のように平等に思ってくださいているとお示しです。住職には子供がいない

のでわかりませんが、同じ子でもまったく平等に愛情を注ぐことは難しいのではないのでしょうか。住職が担任をしていたとき、平等にしているつもりでも、保護者の方から「先生はひいきをされるそうですね」と怒られたことがあります。何を持って平等とするのかというのは、とても難しいことだと思えます。今年の台風19号のとき、東京の避難所にホームレスの人が入れなかったという話を聞きました。例えば住職が避難しているとして、ホームレスの人がたくさん入ってきたらちゃんと一緒に過ごせただけでしょうか……。頭では平等だと思いつつも、不満に思わないという自信がありません。同じ仕事にしても給料が違う、国籍や人種、宗教で扱いが違う。健康者と障害者……などなど、現実の人間社会では、本当の平等というものは有り得ないと言ってもいいのではないのでしょうか。ですから親鸞聖人は『仏性』と表してくださいだったのでしよう。そしてそれは『安養』（お浄土）に生まれて覚るものとお示しなのだと思います。

だからといって、「平等になどできるはずがない、凡夫なんだから」と開き直るのではなく、できない私だけでも、少しでも近づけようと思つ

御正忌にお参りください
16日(月) 昼二時のみ

て生きることが大切なのだと思います。

住職はアジアの国にたくさん行かせていただきましたが、中でもマレーシアは移住したいくらいです。住職の嫌いな冬と地震がないのもそうですが、マレー系（イスラム教徒）、中国系（仏教徒など）、インド系（ヒンズー教徒）の方たちがごちゃ混ぜに住んでいて、お互いの生き方、宗教を尊重しながら生きています。マレー系の方は豚も食べないしお酒も飲みませんが、豚もお酒も売っています。ある意味みんな外国人なので、私たちが行つても特別視されません。言語も民族内ではマレー語、中国語、ヒンドゥー語をそれぞれ話されますが、お互いは英語を使って意思疎通されるので、住職の下手な英語でも一生懸命聞いてくれます。文化や料理も混ざり合っています。ニョニヤ料理など独自のジャンルも生まれています。他の民族と一緒に生きることが、『○○ファースト！』と自分中心に生きることを恥ずかしく思うと同時に、自分自身の生き方を省みることができないのではないかと思うのです。みなさんも一度行つてみてください😊。

「御正忌にお参りください」

寺報がたいへん遅くなってしまい、申し訳ありません。今年も16日に御正忌をお勤めさせていただきたいと思えます。みなさまお気軽にぜんざいを食べに来ててください。ビデオも今年は短くします。

日	10時〜	14時〜	19時〜
16日 (月)		正信偈行譜 御伝鈔拝読 ビデオ上映	

「報恩講が厳修されました！」

ブログにも書きましたが、おかげさまで今年も親鸞聖人のお徳を偲び、報恩講をお勤めすることができました。みなさまからのお蟬燭代やお預かりしたお布施などから運営させていただいております。お参りくださったみなさま、お蟬燭代をお供えくださったみなさま、有り難うございました。

過疎地域のお寺では、報恩講ができなくなったりとところもあると聞いています。西光寺の報恩講は、



ご門徒のみなさまと共にこれからもお勤めさせていただきます。
かなどうろう
「金灯籠が金ピカになりました！」

報恩講のときにみなさまにご紹介するつもりでしたが忘れてしまいました。来年の5月23日の『前住職七回忌&前々住職五十回忌』に向けて、酸化して黒くなり、お磨きしてもなかなかきれいにならないお内陣の金灯籠を修復に出しました。費用は11万3670円かかりましたが、護持会費ではなく、お寺の貯金からださせていただきました。ご門徒のみなさまからのお布施や永代経懇志で直していただきました。有り難うございます。あと、汚くなっていた各所の襖も張替えていただきました。こちらは護持会費から支出させていただきました。年度末にご報告いたします。



「尋ね人」

西光寺の報恩講の直前に、お米をたくさんお持ちくださった方がありません。またも住職は外出していたので、玄関先に置かれていたのですがお名前がありません。昨年



末にもお持ちいただいた方と同じ方ではないかと思っております。ぜひともお申し出ください。ただお礼が言いたいだけです。お米はお仏飯としてお供えし、お下がりをお願いしております。何度も留守にしまして本当に申し訳ありません。有り難うございます。I feel so good.と書かれた袋に入っていました。Me too.と書かれています。

西光寺では、遠くのご門徒さまのところにも、ご希望さえあれば報恩講や法事にできる限りお伺いいたします。ご相談ください。また、現地のお寺をご紹介することもできます。この秋、ご門徒さまのご病気やお怪我(骨折)をいくつかお聞きしました。これから寒くなりますので、お体には十分に気をつけてお過ごしください。

以前にもお伝えしましたが、カーテンのご用命はぜひ住職まで。これまであわら市のお寺さまにも納品させていただきました。お気軽にご相談ください。

では御正忌にてお会いいたしましょう！



住職携帯 090-8967-7902
メール soichiro4989@gmail.com
ブログ 西光寺で最高時！